

子どもの本だな 150

子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ワニのファイルがやってきた

バーナード・ウェバー さく
小杉 佐恵子 やく (大日本図書)

ある朝、東88番通りの空き家にプリムさん一家が引っ越してきました。荷物を運び込んでみると、奇妙な音が聞こえてきました。シュツ、シュツ、バシヤン、バシヤン……。音のするほうへ行ってみると、風呂場にワニがいたのです。皆が大騒ぎしているところに、バレンティさんという人から手紙が届きました。「私のワニをよろしく頼みます。また戻ってきます。追伸ーワニの名前はライルです。」ライルは素晴らしい芸がたくさんできました。手伝いも大好きで、毎朝、古新聞を捨て、牛乳を取りに行きます。タオルをたたみ、鳥に餌をやり、テールも素敵に飾りました。ライルはプリムさん一家とすっかり仲良しになりました。

ある日、バレンティさんがライルを返してほしいとやってきました。ライルと一緒に世界中の舞台に立つためです。みんなは泣きながらお別れをしました。ところがライルは、プリムさん一家のことが忘れられず、自分が笑うことも、観客を笑わせることもできなくなり……。

愛嬌あるライルや登場人物たちが表情豊かに描かれ、ユーモラスなお話によく合っています。ライルが再びプリムさん一家の元に戻り、みんなで笑いこぼる結末に大満足です。読んでもらえば4歳くらいから。 (池之上)

図書館の本棚 477

中世ヨーロッパの魔術師

タビサ・スタンモア 著 ダコスタ 吉村花子 訳 河出書房新社 (1471)

中世ヨーロッパでは、庶民から貴族、王までもが魔術に頼った。紛失物や行方不明者捜索、治療など有用な魔術を扱う人たちをカニングフォーク(サーヴィス魔術師)と呼び、多くの人が悪意ある魔女とは区別していた。本書では、中世の人々がどのような生活をし、そこで直面する問題に魔術がどのように使われたのか語られる。

ある教会で祭壇にかける聖餐布が紛失した。捜索したもののお手上げになった教区委員たちは魔術師に頼るべく、約16km離れた村に委員の一人を派遣した。旅費は現代の通貨で250ポンド。すべてが手作りだった時代、安定した生活を送る人でさえ所有する衣類はわずかで、布片でさえ貴重だった。また、委員たちは地域の信頼が失われると、立場が危うくなる恐れがあった。委員たちは評判のよい魔術師を頼ったにちがいない。では、魔術師たちは紛失物捜索にどのような魔術を使ったのか。ハサミの先に吊り下げたふるいが回る方向で「はい」、「いいえ」の答えを導く。二者択一なので質問の選択肢を用意する必要がある。物が盗まれた場合、容疑者を集め、チーズを喉に詰まらせた者が盗人であることを唱え、呪文を書いたチーズを順々に食べさせる。犯人は魔術に脅え、正体が暴かれる緊張で口が渇く。さらにチーズは硬く乾いている。魔術を信じる社会であれば、犯人に及ぼす作用も大きかったであろう。

占いや殺人依頼、神の裁定に頼る決闘裁判に司祭が魔術をもちこむ例など、魔術が用いられるさまざまな場面が記録から多くひかれており、中世に生きた人々の様子がうかがえる。困難を乗り越えようと希望にすぎない私たちも魔術を必要としているという著者の言葉に、変わらない人の本質を感じる。 (竹内)

お知らせ

養蜂家に聞く ミツバチとハチミツのはなし

- ・講師：前田 千紘 さん
- ・日時：8月30日(日)
 ☕ 14:00～14:45 おはなしと味くらべ
 🍷 14:45～16:00 ワークショップ
- ・場所：太子町立図書館 読書会室
- ・対象：小学生～大人
- ・定員：20名(要申込・先着順)
- ・申込：太子町立図書館



おはなしの夕べ

- ・日時：8月21日(金)
 ①4歳以上～大人 18:00～
 ②小学校3年生～大人 18:30～
- ・場所：太子町立図書館 おはなしの部屋
- ※途中からは入れません。時間までにお越しください。
- ※8月の「おはなしの時間」は、
 毎週土曜日、11:00～11:30に開きます。
 (対象：4歳～中学生)

8月の開館日							9月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							
2	3	×	5	6	7	8			×	2	3	4	5
9	10	×	×	13	14	15	6	7	×	9	10	11	12
16	17	×	19	20	21	22	13	14	×	16	17	18	19
23	24	×	26	27	28	29	20	21	×	23	×	×	26
30	×						27	×	×	×			

▶ ×印は休館日

- ・祝日の振替休館
 8/12、9/24、9/25、9/28
- ・館内整理日
 8/31
- ・特別館内整理
 9/30～10/7

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間

10:00～18:00

※金曜日 10:00～20:00

8月	9月	8・9月の移動図書館（いずれも木曜日）				
6日	3日			<u>福地（三反長）</u> 地域内 14:30～ 14:50	<u>米田</u> 公会堂 15:00～ 15:20	<u>竹広南</u> 公民館 15:30～ 15:50
13日	10日			<u>原池団地</u> 公民館 15:00～ 15:20	<u>山田</u> 掲示板前 15:30～ 15:50	<u>原</u> 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
20日	17日	<u>広坂</u> 公民館 10:30～ 10:50	<u>上太田</u> 公民館 11:00～ 11:20	<u>太子 ニュータウン</u> 公民館 14:40～ 15:00	<u>吉福</u> 公民館 15:10～ 15:30	<u>塚森</u> 地域内 15:40～ 16:00

< お知らせ >

13歳からの読書会 『太陽の戦士』を読んで

(ローズマリ・サトクリフ 作 猪熊葉子 訳 岩波書店)

- ・日時：8月16日(日)
 14:00～15:30
- ・場所：太子町立図書館 読書会室
- ・対象：中学生から大人まで
- ・準備：当日までに本を読んで
 きてください。
- ・申込：窓口または電話申込

地下水

玄関横の花壇からヤマモモの木がなくなつて2度目の夏。木陰がなくなり、日射しが強いか、幹周りのツタは枯れてしまった。渴いた土がむき出しなのが痛ましく見え、試しに野菜を植えてみるようになった。

花壇の土からは、長年積もったヤマモモの種が大量に出てくる。傷んだ木の根や石を掘り出して土をほぐし、館の周辺で集めた腐葉土を鋤きこんだ。さらに、この土には水をはじくという難点があり、長雨の後でさえ土の中は渴いたままだった。こんな土で野菜が育つか？なんとか地中に水を浸ませようと、穴を掘って水を貯めてみるやら、土づくりの資料をめくるやら…。

かくして移植したかぼちゃの苗は、数日はぐったりとしていて、ナメクジにやられたりするのを、ハラハラと見守った。来館者の注目度は高く、「何が植えてあるの?」「うちの苗をもつてこようか?」などと声をかけていた。7月に入つて、当初の心配をよそに、かぼちゃの蔓はぐんぐんと勢いよく伸びあがった。きゅうりとトロロアオイも加わって、花壇はすっかり畑のさまだ。かぼちゃが「どででん」となったら、トロロアオイの大きな花が咲いたら…、利用者からどんな声が聞こえるかと、実よりも先に期待が膨らんでいる。(秋澤)